

6・1 国際こどもデー 市長懇談 要望項目

① こどもの居場所

- ・ 放課後児童クラブの開設時間を保育園同様午後6時までの延長を要望します。
- ・ こども食堂や放課後ディサービスの情報を苫小牧市でも知らせて広めていただきたい。

② こどもと学校

- ・ どの子どもも安心して学ぶことができるよう、国による給食費、教材費の無償化をいっしょにめざしていただきたい。また、報道等でも話題になっているところの学校のトイレの生理用品の提供、設置を苫小牧市でも実現していただきたい。

③ こどもと家庭・地域

- ・ 子ども医療費の無償化に取り組んでいただきたい。また、経済支援の各制度を知らせ、相談者に十分活用してもらえる取り組みを工夫してください。
- ・ 様々な機関、部署で把握している地域の実態（18才以下の自殺者、虐待、「ヤングケアラー」）をスピーディーに支援につなげてください。

④ 道立苫小牧支援学校の新設

- ・ 「地域や学校との連携」として、市内各学校の研修に支援学校教員の派遣を要請していただけませんか。
- ・ 次年度の入学予定者の掌握し見通しを立ててください。

以下については、後日、ご回答ください。

① 保育園、こども園、幼稚園の非正規職員の人数や処遇について調査していただきたい。

② 小学校 35 人学級の段階的实施がはじまりましたが、自治体独自予算での小 4 年生以上の 35 人学級前倒し実施を北海道に要望していただきたい。

③ 学校の 1 年変形労働制について苫小牧市では、どのようにお考えでしょうか。

④ 学校での人種差別・排除の事例は、ありませんか。